

大きな災害に備えるため

高機能救命ボート

角田消防署に配備！



阿武隈川(丸森町)での水難訓練の様子



▲車椅子でも乗船できます



▲高機能救命ボート

緊急消防援助隊の装備で、長さ約7m、横幅3m、最大積載量 2,000kg、定員 20 名のボートです。

令和元年東日本台風は、仙南圏域に河川の氾濫や土砂崩れ、浸水害をもたらした未曾有の災害となりました。

この大規模災害を受け、総務省消防庁から当組合に高機能救命ボートが無償貸与されました。

この高機能救命ボートは二十人まで乗船することができ、一度に多くの逃げ遅れた人を救出することができま

す。特徴は、船底を特殊強化ゴムで補強しているため、がれき等がある浸水した地域で活動することが可能です。また、船首に開閉式のスロープが取り付けられており、車椅子やベビーカーでも安全に乗船できます。

当消防本部では、ボートの組み立て方や装備の確認などの訓練を重ね、仙南圏域内外の大規模な風水害に備え、万全の態勢で対応できるように準備しています。

住宅用火災警報器の

設置状況調査について

当消防本部では、住宅用火災警報器の未設置世帯等に対して、効果的な普及啓発を行うとともに、すでに住宅用火災警報器を設置している世帯には、定期的な作動確認、経年劣化や電池切れがあれば本体の交換を推進するなど、適切な維持管理等について広報を行っています。

つきましては、住宅用火災警報器の設置状況を把握するため、次のとおり調査を実施します。皆さまのご理解とご協力をお願いします。



● 調査期間

令和3年1月25日(月)～5月14日(金)

● 調査方法

消防職員による訪問調査等

● 調査対象

仙南2市7町(二戸建て、長屋、共同住宅) から無作為に抽出した330世帯

● 調査内容

住宅用火災警報器の「設置の有無」、「点検の実施状況、結果」等について玄関先等で聞き取り調査を行います。

消防職員が住宅用火災警報器や消火器を販売することはありません。



住宅用火災警報器の設置について

住宅用火災警報器は、台所だけに設置すれば良いと思いませんか？

設置しなければならない場所は

- ① 寝室 ※1 ② 台所 ③ 階段 ※2

※1 普段、就寝しているすべての寝室
※2 二階に寝室がある場合に限る

住宅用火災警報器は、おおむね10年を目安に本体を交換しましょう